

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17105001	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	時空間マッピングによる固体表面反応機構の解明	研究代表者 (所属・職)	松本 吉泰（京都大学・大学院理学研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

全体的にみて、順調に成果を挙げていると判断できる。申請時にはSTM、PEEM、SFG、計算科学を駆使して原子レベルから巨視的レベルにわたって時間・空間分解マッピングを行うとしていたが、予算削減もあってPEEMは断念した。表面のAgOのSTM観察は順調に進展しており、目覚ましい成果が得られている。

SFG、表面科学に関してはやや遅れているように見えるが、研究者の所属に変更があったことに伴うタイムロスのためとも思われるので、今後の一層の努力を望みたい。

また、金属表面におけるコヒーレントフォノン励起の観察も進展しているので、この方向が研究課題である「固体表面反応機構の解明」につながることを期待したい。

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。